

事業概要

1. 組織と業務

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

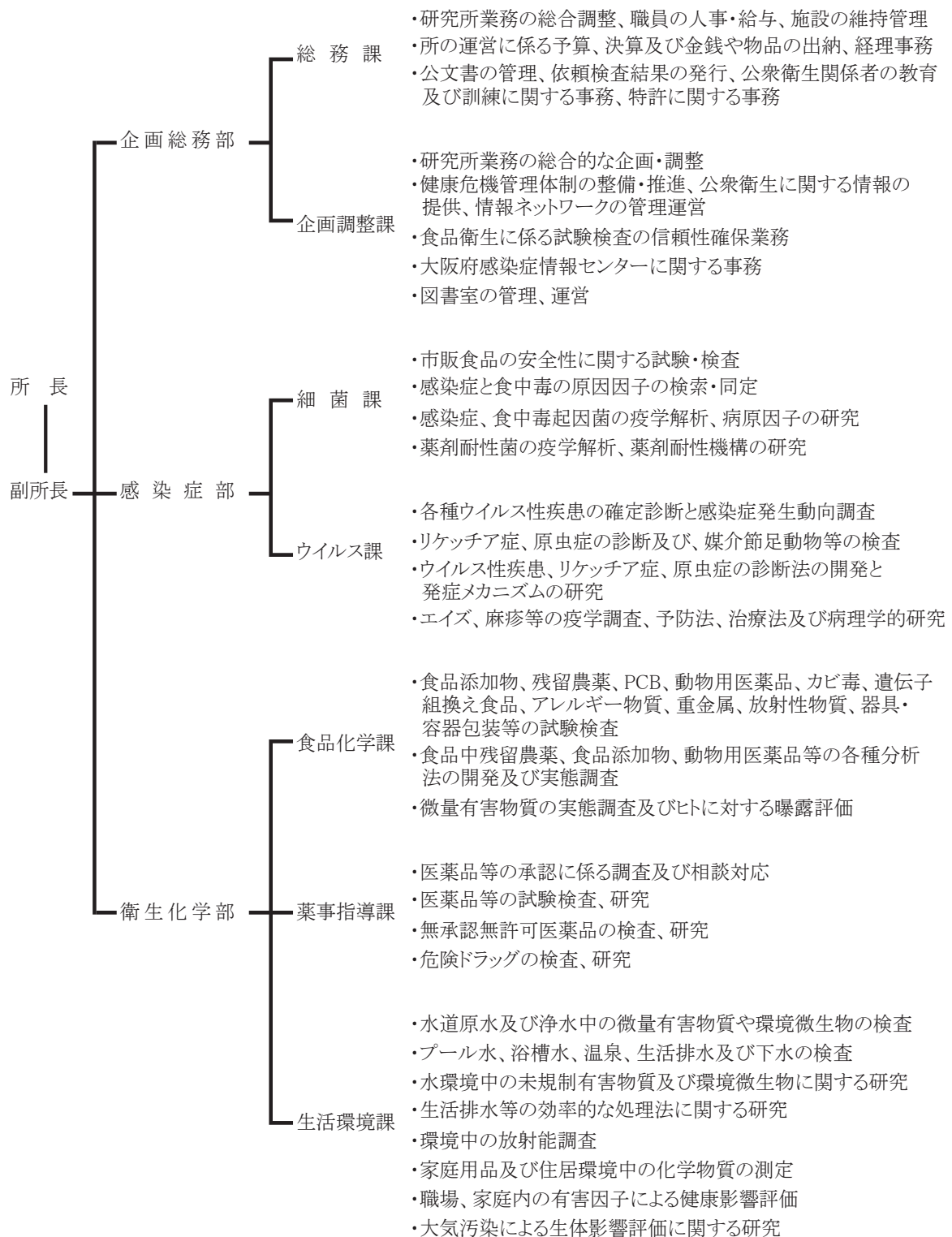


図 1.1 所の組織と業務

表 1.1 部課別・職種別現員表

(平成28年3月31日現在)

部 課		職 種											合 計	
		一 般 事 務	薬 学	獣 医 師	化 学	農 芸 化 学	生 物	臨 床 検 査 技 師	電 気	機 械	自 動 車 運 転 手	電 話 交 換 手		医 療 機 器 操 作 手
所 長							1							1
副 所 長			1											1
企 画 総 務 部	総 務 課	9							1	1	2	2		15
	企 画 調 整 課	3	1	1				1						6
感 染 症 部	細 菌 課			14				1					2	17
	ウ イ ル ス 課		1	8			2						4	15
衛 生 化 学 部	食 品 化 学 課		15			4	1							20
	薬 事 指 導 課		10											10
	生 活 環 境 課		10		1		1	2						14
合 計		12	38	23	1	4	5	4	1	1	2	2	6	99

注)

- (1) 衛生化学部長(兼務)は副所長の項に掲出 企画総務部長、感染症部長は、それぞれ総務課、細菌課の項に掲出
- (2) 一般事務の職名は事務職員、他は技術職員である
- (3) 研究職は、薬学(食品化学課の1名、薬事指導課の2名を除く)、獣医師、化学、農芸化学、生物、臨床検査技師である
- (4) 行政職は、(3)以外の職種である
- (5) 非常勤職員、臨時的任用職員を除く

2. 施設の状況及び庁舎の維持管理

図 1.2 建物の配置および付近の見取図

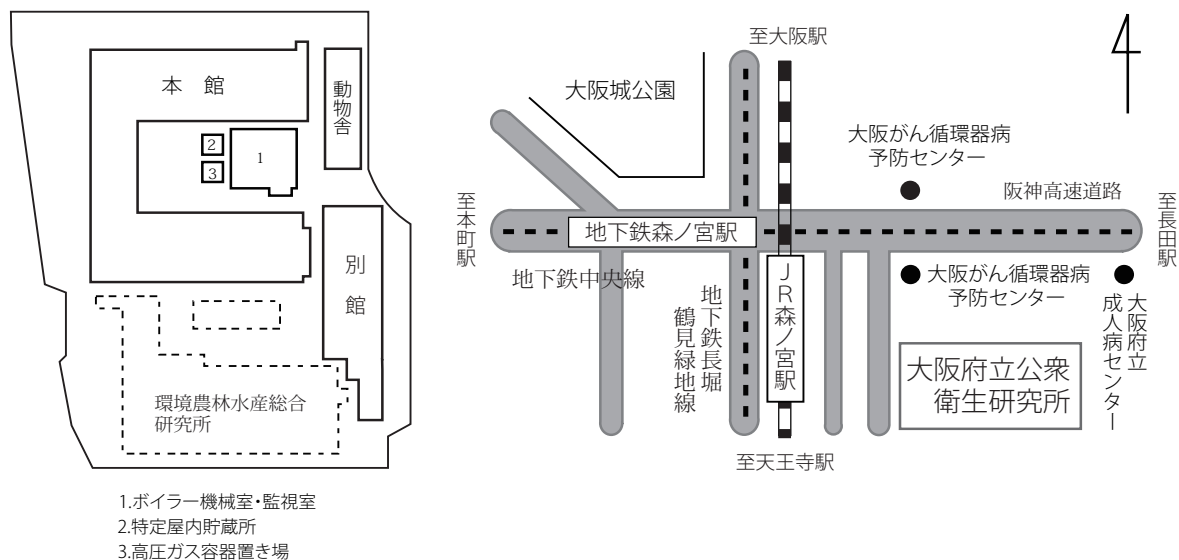


表 1.2 建物の概要

(平成28年3月31日現在)

名称	構造	建面積 (㎡)	延面積 (㎡)	備考
本館	鉄筋コンクリート造4階建	1,660.29	6,867.52	S34.12竣工 S37.2 増築
別館	鉄筋コンクリート造6階建	643.25	4,272.18	S49.10竣工
ボイラー機械室	鉄筋コンクリート平屋建	233.27	260.97	S49.10竣工
動物舎	鉄筋コンクリート2階建	202.50	405.05	S45.3 竣工
ボイラー監視室	軽量鉄骨造平屋建	9.69	9.69	S51.2 竣工
特定屋内貯蔵所	鉄筋コンクリート平屋建	8.99	8.99	H4.3 竣工
高圧ガス容器置場	鉄筋コンクリート平屋建	8.25	8.25	H20.2 竣工
合計 (㎡)		2,766.24	11,832.65	敷地 5,790.91

3. 歳入及び歳出

表 1.3 歳入決算

科 目	決算額(円)
総 額	73,309,280
使用料及び手数料	38,237,540
国 庫 支 出 金	8,863,017
諸 収 入	26,208,723

表 1.4 歳出決算

科 目	決算額(円)
総 額	992,657,165
公衆衛生総務費	690,661,139
報 酬	1,759,220
給 料	419,289,117
職 員 手 当	268,935,344
共 済 費	677,458
衛生研究所費	191,958,323
報 酬	172,800
共 済 費	758,223
賃 金	5,753,256
報 償 費	126,015
旅 費	2,701,111
需 用 費	83,936,245
役 務 費	3,797,325
委 託 料	60,271,041
使用料及び賃借料	28,267,660
工 事 請 負 費	465,480
備 品 購 入 費	4,787,920
負担金、補助及び交付金	921,247
総務管理費（一般管理費）	7,871,700
公衆衛生費（予防費）	14,753,504
環境衛生費（食品衛生費等）	56,954,237
医 薬 費（薬務費）	30,458,262

4. 運営審査会、委員会等

表 1.5 運営審査会、部会、委員会一覧

審査会・委員会	委員長・議長	委員*	備考
公衆衛生研究所運営審査会	山西 弘一	13名	所外学識経験者8、所内委員5
調査研究評価審査部会	田中 智之	9名	所外学識経験者9
倫理審査部会	井上 徳光	7名	所外学識経験者3、所内委員4
組換えDNA実験安全管理審査部会	奥野 良信	9名	所外学識経験者2、所内委員7
病原体等取扱安全管理審査部会	奥野 良信	7名	所外学識経験者2、地域代表者1、所内委員4
緊急対策特別委員会	山本 容正	15名	所外学識経験者2、地域代表者7、所内委員6
安全衛生委員会	山本 容正	17名	労働安全衛生法（昭和47年法57）及び大阪府職員安全衛生管理規程（昭和55年訓職140）による安全衛生管理に関する委員会
感染症防止対策委員会	加瀬 哲男	8名	
病原体等取扱安全管理運営委員会	加瀬 哲男	11名	
動物実験委員会	弓指 孝博	10名	
ECD運営委員会	足立 伸一	5名	放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（昭和32年法167第21条）による管理運営の組織
公衆衛生情報委員会	木村 明生	8名	
研究情報調査委員会	梶村 計志	9名	
研究発表会運営委員会	弓指 孝博	8名	
所報編集委員会	沢辺 善之	8名	
化学安全実験室運営委員会	足立 伸一	4名	
備品委員会	尾花 裕孝	10名	
重要物品機能評価委員会	山本 容正	10名	
公衛研ニュース編集委員会	久米田 裕子	8名	
利益相反管理委員会	尾花 裕孝	11名	
調査研究審査委員会	尾花 裕孝	10名	

*委員長・議長を含む人数

5. 研究備品の整備状況

表 1.6 新たに取得した主要研究備品

(購入価格 100 万円以上)

備 品 名	型 式
フラッシュ自動精製システム	Biotage社製 Iso-ISV(Variable UV)
CO2インキュベーター	サーモフィッシャーサイエンティフィック社製 フォーマ ステリカルトMODEL3307
還元気化水銀測定装置	日本インスツルメンツ社製 RA-5100

6. 広報、見学、報道

表 1.7 インターネットによる情報発信

Webによる情報発信	研究所の紹介、研究活動、健康危機管理、トピックス等 【感染症情報センター】 感染症発生動向調査（週報、月報、年報：事業報告書）、その他感染症関連情報
メールマガジンの配信	140号～151号を配信 定期購読者：約1,000名

表 1.8 公衛研ニュースの発行

号数	発行日	タイトル	所属	著者
56	H27. 7. 3	アデノウイルス感染症とは？	ウイルス課	廣井 聡
		検査技術の視覚化 ―ビデオ教材の試作―	食品化学課	阿久津和彦
57	H27. 11. 6	医薬品成分が配合された健康食品にご注意	薬事指導課	中村暁彦
		水道水における農薬検査法の追加について	生活環境課	吉田 仁
58	H28. 3. 4	私たちの暮らしと化学物質	大阪市立環境科学研究所 都市環境グループ	山本敦史
		危険です！お肉の生食！	細菌課	坂田淳子

表 1.9 見学等の受入れ

担当課	区分	テーマ	見学者	人数
薬事指導課	講義	GMP調査に必要な試験・検査の基礎知識	近畿府県等薬事監視員	40
生活環境課	講義 見学	環境衛生に関する業務内容の説明及び 関連施設・機器の見学	大学生	49
細菌課	講義 見学	大阪府の結核の現状及び結核を含む感 染症の当所での取り組みについて	J I C A 研修生（公益財 団法人結核予防会）	19
ウイルス課	講義 見学	サーベイランスを含むHIV対策のための 検査技術・実験室マネジメント	J I C A 研修生（国立感 染症研究所）	12
衛生化学部	見学	分析機器や研究所の事業内容の見学	専門学校生	41
食品化学課 生活環境課	見学	食品化学課ならびに生活環境課の施設 （分析機器等）の見学	大学生	23
生活環境課	講義 見学	有機・無機汚染物質に対する新たな分 析技術及び方法等	大韓民国環境部 国立環境科学院	20
薬事指導課 生活環境課	講義 見学	水道水及び河川の水質について 薬事関連の規制方法について等	大学院生	15
食品化学課	講義 見学	食品衛生に関する業務内容の説明及び 関連施設・機器の見学	大学生	49
細菌課	講義 見学	大阪府の結核の現状及び結核を含む感 染症の当所での取り組みについて	J I C A 研修生（公益財 団法人結核予防会）	9
細菌課 食品化学課	講義	細菌・理化学検査に関する検査技術・ 知識の習得について	食品衛生監視員	9

表 1.10 新聞報道

掲載日	新聞社	取材内容	関係部署
H27. 7. 10	日本経済新聞	死亡原因としての感染症について	感染症部
H27. 10. 16	日本経済新聞	世界で患者数が多い5大感染症	感染症部
H27. 12. 3	読売新聞	インフルエンザについて	感染症部
H28. 2. 6	朝日新聞	インフルエンザについて	感染症部

表 1.11 電波報道

報道日	放送局	取材内容	関係部署
H27. 5. 26	朝日放送	デング熱およびマダニについて	ウイルス課
H27. 6. 3	読売テレビ	MERSについて	ウイルス課
H27. 6. 4	関西テレビ	MERSについて	感染症部
H27. 6. 30	朝日放送	クローズアップ「食中毒」	細菌課
H27. 6. 30	NHK	最新の「蚊」対策について	ウイルス課
H27. 6. 30	毎日放送	最新の「蚊」対策について	ウイルス課
H27. 8. 18	関西テレビ	手足口病の流行について	ウイルス課
H27. 8. 26	関西テレビ	GES-5陽性多剤耐性緑膿菌について	細菌課
H27. 9. 28	朝日放送	ノロウイルスGII. 17に関する注意喚起	ウイルス課
H27. 10. 8	朝日放送	劇症型溶レン菌感染症について	細菌課
H27. 10. 10	NHK	ノロウイルスについて	感染症部
H27. 11. 17	NHK	薬剤耐性菌の制御について	感染症部
H27. 12. 3	読売テレビ	ノロウイルスの新型GII. 17について	ウイルス課
H27. 12. 16	関西テレビ	ノロウイルスの感染経路について	ウイルス課
H28. 2. 4	NHK	インフルエンザについて	感染症部
H28. 2. 16	関西テレビ	インフルエンザについて	感染症部
H28. 2. 19	読売テレビ	インフルエンザについて	感染症部

7. 教育、研修

表 1.12 国内からの研修の受入れ

開始日	期間	担当部課	研修内容	(手数料収入のあるもの)	
				研修者	人数
H27. 4. 6	3ヶ月	ウイルス課	公衆衛生に関する知識習得	学生	1
H27. 4. 1	12か月	感染症部	病原ウイルスの取り扱いと感染動物実験の手法	学生	1
H27. 5. 1	11か月	細菌課	病原細菌の取り扱いと分子生物学的手法の習得	学生	1
H27. 4. 9	7ヶ月	ウイルス課 食品化学課 生活環境課	感染症に関する公衛研の役割と業務内容 トータルダイエツスタディによる食の安全評価 公衆衛生における環境衛生関連業務の体得	学生	9
H27. 8. 17	1ヶ月	食品化学課 生活環境課	食品化学及び生活環境における検査及び研究について	学生	4
H27. 8. 17	1ヶ月	薬事指導課 生活環境課	分析実習技術の習得	学生	4

表 1.13 海外からの研修の受入れ

研修期間	担当部課	研修内容	派遣国	人数
該当なし				

表 1.14 研究職員の国際会議・学会等への派遣

所属	研究者	期間	学会名及び国名
食品化学課	起橋雅浩 山口貴弘	H27. 6. 10～20	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河原隆二	H27. 6. 7～20	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	神吉政史	H27. 6. 10～20	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	内田耕太郎	H27. 7. 18～24	学会「52nd North American Chemical Residue Workshop」(アメリカ)
食品化学課	小西良昌 内田耕太郎	H27. 8. 17～29	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	陣内理生	H27. 8. 16～28	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	田丸亜貴	H27. 10. 16～18	International Conference on Conservation Medicine 国際学会(ミャンマー)
細菌課	神吉政史	H27. 10. 4～9	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	起橋雅浩 山口貴弘	H27. 11. 9～19	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	久米田裕子	H27. 11. 9～10	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河原隆二	H27. 12. 6～12. 12	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	余野木伸哉	H28. 1. 10～1. 17	日米医学協力研究会コレラ・細菌性腸管感染症専門部会ポスター発表(アメリカ)
細菌課	陣内理生	H28. 1. 11～1. 22	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河原隆二	H28. 3. 1～12	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)

表 1.15 大学等の講師

所属	研究者	大学等教育機関名	期間	講義	回数
生活環境課	田中榮次	近畿大学	H27. 4. 8～7. 24	農学部環境管理学科	15
細菌課	河合高生	大阪教育大学	H27. 4. 9～9. 30	微生物学	15
細菌課	勝川千尋	大阪ペピイ動物看護専門学校	H27. 10. 1～H28. 3. 31	公衆衛生学	84

8. 試験実施件数

表 1.16 (1) 衛生検査実施件数

	依頼によるもの				依頼によらないもの	計	
	住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他(医療機関、学校、事業所等)			
結核	分離・同定・検出		64	6	2	72	
	核酸検査		273	16	3	292	
	化学療法剤に対する耐性検査		59	3	1	63	
性病	梅毒				3	3	
	その他				18	18	
ウイルス・リケッチア等検査	分離・同定・検出	ウイルス	10	422	26	1,333	1,791
		リケッチア		30			30
		クラミジア・マイコプラズマ					
	抗体検査	ウイルス		272			278
		リケッチア		90			90
クラミジア・マイコプラズマ							
病原微生物の動物試験							
原虫・寄生虫等	原虫						
	寄生虫						
	そ族・節足動物			5,646		30	5,676
	真菌・その他						
食中毒	病原微生物検査	細菌	709			709	
		ウイルス	905		2	907	
		核酸検査	512			512	
	理化学的検査						
	動物を用いる検査		1			1	
	その他						
臨床検査	血液検査(血液一般検査)						
	血清等検査	エイズ(HIV)検査	18	54	142	1,414	1,628
		HBs抗原、抗体検査				161	161
		その他				18	18
	生化学検査	先天性代謝異常検査					
		その他					
	尿検査	尿一般					
		神経芽細胞腫					
		その他					
	アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)						
その他							
食品等検査	微生物学的検査		2,194	80		2,274	
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)		1,234	421		410	2,065
	動物を用いる検査			21		21	
	その他			15		15	
(上記以外)細菌検査	分離・同定・検出		314	211	711	313	1,549
	核酸検査		560	271	1,051	617	2,499
	抗体検査						
	化学療法剤に対する耐性検査		302	172	458	304	1,236
医薬品・家庭用品等検査	医薬品			30		30	
	医薬部外品			5		5	

表 1.16 (2) 衛生検査実施件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの	計	
		住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他(医療機関、学校、事業所等)			
医薬品・家庭用品等検査	化粧品				35		35	
	医療機器				4		4	
	毒劇物							
	家庭用品				181		181	
	その他				54		54	
栄養関係検査								
水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査				26	26	
		理化学的検査			49	285	334	
		生物学的検査			37	9	46	
	飲用水	細菌学的検査			1	23	24	
		理化学的検査			65	346	411	
	利用水等(プール水等を含む)	細菌学的検査						
理化学的検査				2	113	115		
廃棄物関係検査	一般廃棄物	細菌学的検査						
		理化学的検査						
		生物学的検査						
	産業廃棄物	細菌学的検査						
		理化学的検査						
		生物学的検査						
環境・公害関係検査	大気検査	SO ₂ ・NO ₂ ・OX等						
		浮遊粒子状物質						
		降下煤塵						
		有害化学物質・重金属等						
		酸性雨						
		その他				1,056	1,056	
	水質検査	公共用水域			24	16	40	
		工場・事業場排水			2		2	
		浄化槽放流水			77	145	222	
		その他				13	13	
	騒音・振動							
	悪臭検査							
	土壌・底質検査							
	環境生物検査	藻類・プランクトン・魚介類						
		その他				10	21	31
一般室内環境								
その他								
放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)				2,152		2,152	
	食 品				3		3	
	その他				29		29	
温泉(鉱泉)泉質検査								
その他				1			1	
総 計				7,155	10,481	2,440	6,646	26,722

9. 調査、研究実施状況

表 1.17 (1) 通常研究、開発研究

感染症部					
課	研究課題	研究代表者	共同研究者		備考
細菌課	腸管感染症および類似疾患における細菌学的研究	勢戸和子	田口真澄	原田哲也	所外共同研究
細菌課	細菌性呼吸器感染症に関する調査研究	河原隆二	田丸亜貴 陳内理生	原田哲也 勝川千尋	
細菌課	薬剤耐性菌感染症に関する調査研究	河原隆二	原田哲也	山口貴弘	
細菌課	結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究	田丸亜貴			
細菌課	細菌性食中毒に関する研究	川津健太郎	神吉政史 坂田淳子	原田哲也	
細菌課 *食品化学課	食品内で産生される細菌毒素に関する研究	河合高生	神吉政史 余野木伸哉 山口瑞香*	原田哲也 陳内理生	所外共同研究
細菌課 *ウイルス課	真菌、魚介毒及びノロウイルスに関する研究	依田知子	川津健太郎 陳内理生 中田恵子*	坂田淳子 左近直美 久米田裕子	
ウイルス課	腸管感染性ウイルスに関する研究	左近直美 中田恵子	上林大起		所外共同研究
ウイルス課	ウイルス性呼吸器感染症の研究	森川佐依子	廣井 聡		
ウイルス課	麻疹・風疹等の発疹を主徴とするウイルス感染症に関する研究	倉田貴子	上林大起	加瀬哲男	所外共同研究
ウイルス課	衛生動物を介する感染症に関する研究	青山幾子	弓指孝博		
ウイルス課 *企画調整課	HIVおよびその他の性感染症に関する研究	森 治代	川畑拓也 西村公志*	小島洋子	所外共同研究

表 1.17 (2) 通常研究、開発研究

衛生化学部				
課	研究課題	研究代表者	共同研究者	備考
食品化学課	食品添加物等に関する衛生学的研究	高取 聡	阿久津和彦 粟津 薫 柿本 葉 清田恭平	柿本幸子 野村千枝 山口瑞香 昌山 敦
食品化学課	健康危害物質に関する衛生学的研究	柿本幸子	高取聡 吉光真人 粟津 薫 山口瑞香 清田恭平	阿久津和彦 野村千枝 柿本 葉 昌山 敦
食品化学課	食品中の残留農薬等に関する研究	北川陽子	起橋雅浩 阿久津和彦 福井直樹 山口聡子	高取 聡 吉光真人 小阪田正和
食品化学課	食品中に残留する微量有害物質に関する研究	起橋雅浩	小西良昌 永吉晴奈 山口貴弘 小阪田正和	柿本健作 内田耕太郎 山口瑞香
食品化学課	食品中のアレルギー物質等に関する研究	吉光真人	清田恭平 粟津 薫 山口瑞香 昌山 敦	野村千枝 柿本 葉 柿本幸子
食品化学課	残留性化学物質によるヒト曝露とその影響に関する研究	小西良昌	柿本健作 柿本 葉	永吉晴奈 所外共同研究
食品化学課	ELISA法を用いたアレルギー物質検査の内部品質管理手法の検討	昌山 敦		開発研究終了
薬事指導課	医薬品等の品質確保及び健康被害防止に関する研究	川口正美 田上貴臣 梶月由香 中村暁彦 宮川（青山）愛倫		
薬事指導課	危険ドラッグに関する研究	土井崇広 田上貴臣 浅田安紀子 武田章弘		

表 1.17 (3) 通常研究、開発研究

課	研究課題	研究代表者	共同研究者	備考	
生活環境課	小規模分散型生活排水処理システムに関する研究	奥村早代子 中野 仁 東恵美子 肥塚利江			
生活環境課	家庭用品に関する衛生学的研究	味村真弓		所外共同研究	
生活環境課 *企画調整課 **ウイルス課	環境微生物に関する調査研究	肥塚利江 枝川亜希子 東恵美子	木村明生* 倉田貴子**		
生活環境課 *企画調整課	住居と職場における有害化学物質への曝露状況と健康影響に関する研究	吉田 仁	吉田俊明*		
生活環境課	水道水の安全性に関する研究	小泉義彦	中島孝江 吉田 仁 田中榮次	高木総吉 安達史恵	
生活環境課	大気汚染および住環境による健康影響に関する研究	大山正幸	東恵美子	中島孝江	所外共同研究
生活環境課	環境放射能および環境放射線の測定	肥塚利江 東恵美子 足立伸一			

表 1.18 受託研究、共同研究

研 究 課 題	所 属	研究者
ウェルシュ菌新型エンテロトキシン (BEC) に関する研究	細菌課	余野木伸哉
ワクチンで予防可能な細菌性感染症における臨床分離菌株の収集および解析	細菌課	久米田裕子、勝川千尋、河原隆二、田口眞澄、神吉政史、原田哲也、陳内理生
病原性大腸菌の新規分類手法の開発に資する研究	細菌課	勢戸和子
薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発	細菌課	久米田裕子
簡易測定手法を利用した佐賀県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
簡易測定手法を利用した長崎県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
簡易測定手法を利用した熊本県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
サルモネラ属検出キットの性能評価	細菌課	川津健太郎
鶏肉に由来する腸球菌の系統分類学的研究	細菌課	原田哲也
大阪府全域におけるノロウイルス流行調査	ウイルス課	左近直美、加瀬哲男
インフルエンザ検査薬の反応性に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男、弓指孝博、森川佐依子、廣井聡
感染症の臨床診断試薬の開発研究	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡、左近直美
呼吸器感染症診断キットの反応性研究	ウイルス課	加瀬哲男、弓指孝博、森川佐依子、廣井聡
ワクチンで予防可能なウイルス感染症に関する臨床分離菌株の収集および解析	ウイルス課	加瀬哲男、弓指孝博、左近直美、中田恵子、森川佐依子、廣井聡、倉田貴子、上林大起、青山幾子、久米田裕子
ソフトコンタクトレンズ消毒剤の有効性に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男、弓指孝博、廣井聡、森川佐依子、中田恵子
ネコカリシウイルスおよび/またはマウスノロウイルスに対して不活性化効果を有する、人体等への影響(刺激性・腐食性等)の少ない新規素材の探索研究	ウイルス課	中田恵子
ノロウイルス検出における新規抗体の評価、および新規開発抗体を使用したノロウイルス検出キットの評価	ウイルス課	加瀬哲男、弓指孝博、左近直美
呼吸器感染症診断薬用モノクローナル抗体の反応性研究	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
ISAAC法によるヒト抗Westナイルウイルスモノクローナル抗体の樹立とそれらによる予防・治療効果の検討	ウイルス課	青山幾子、弓指孝博
市中におけるインフルエンザウイルス株の分離・培養及び提供と市中分離株の薬剤感受性試験	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
ノロウイルス検出キット性能評価	ウイルス課	左近直美、加瀬哲男
公衆衛生にかかる大阪府・大阪市共同研究体制の強化のための調査研究	ウイルス課 食品化学課	上林大起 清田恭平
非エンベロープウイルスおよび芽胞菌を効果的に不活化するアルコール製剤および高水準消毒薬等の開発	ウイルス課 企画調整課	中田恵子 西村公志
食品中の汚染化学物質のP450酵素による代謝挙動の解明	食品化学課	柿本健作、永吉春奈
浄化槽面整備後の地域水環境への影響評価	生活環境課	奥村早代子、東恵美子、肥塚利江、中野仁
大阪府建築物飲料水水質検査業における外部精度管理の実施及び検討	生活環境課	小泉義彦

表 1.19 文部科学省科学研究費補助金による研究

研究種目	研究課題	所属	研究者
基盤研究B	動物曝露実験による亜硝酸ガスの生体影響評価に関する研究	生活環境課	大山正幸
基盤研究B*	食中毒の原因になる不顕性感染型クドア属粘液胞子虫のリスク評価	細菌課	河合高生
基盤研究C	アメーバ共培養法で検出したレジオネラの遺伝子型と棲息環境との関連性解析	生活環境課	枝川亜希子
基盤研究C	マクロライド耐性マイコプラズマ感染症の流行, 薬剤耐性の把握と臨床的特徴の解明	細菌課	勝川千尋
基盤研究C	肺炎球菌ワクチン導入による菌株遷移と新たな高病原性菌発生リスクの解析	細菌課	河原隆二
基盤研究C	ノロウイルスの変異率と流行に関する研究	ウイルス課	左近直美
基盤研究C	生原アミン類の生成を指標とした食品の新しい鮮度評価法に関する研究	食品化学課	梶村計志
基盤研究C	放射線損傷塩基である5, 6-ジヒドロチミジンを経指標とした新規照射食品検知法の開発	食品化学課	高取聡
基盤研究C	殺虫剤・可塑剤・難燃剤による子どもの体内汚染と学校・住宅の室内空気質の及ぼす影響	企画調整課	吉田俊明
基盤研究C	養鶏現場で簡便かつ迅速に実施できるカンピロバクター保菌鶏の超高度検出法の確立	細菌課	川津健太郎
基盤研究C	高まん延多剤耐性結核菌株のゲノム解析による高病原因子の探索	細菌課	田丸亜貴
基盤研究C	全てのカンナビノイド系指定薬物に適用可能な高感度分析法の確立	薬事指導課	田上貴臣
基盤研究C*	絶滅危惧Ⅱ類（VU）タンチョウの保全に資する有機汚染物質曝露調査	食品化学課	柿本健作
挑戦萌芽	質量分析計を用いて黄色ブドウ球菌エンテロトキシン食中毒の実態を解明する	食品化学課	吉光真人
若手研究B	国内で流通する非加熱摂取食品に潜在する細菌学的健康リスクの解明	細菌課	原田哲也
若手研究B	違法ドラッグ及びその代謝物の一斉構造決定を可能にする新システムの開発	薬事指導課	浅田安紀子
若手研究B	周産期における麻疹ウイルス胎盤感染がもたらす胎児への影響に関する研究	ウイルス課	倉田貴子
若手研究B	風疹市中流行株の液性免疫に対する有効性とエンデミック形成への関与	ウイルス課	上林大起
若手研究B	デクロラン類による大気汚染実態と越境汚染の解明	食品化学課	柿本健作
若手研究B	ホルムアルデヒド遊離型防腐剤が示す抗菌・皮膚感作活性化化合物の解明	薬事指導課	土井崇広
若手研究B	世界的なESBL産生菌の拡散に寄与している抗菌薬は何か？	食品化学課	山口貴弘
若手研究B	食用キノコと間違いやすい毒性キノコの迅速鑑別法の確立	食品化学課	野村千枝

注 *は分担研究者

表 1.20 厚生労働科学研究費補助金、環境省科学研究費補助金、その他の研究助成金による研究

研究課題	所 属	研究者	補助金等事業者名
検査機関の信頼性確保に関する研究	副所長兼 衛生化学部長	尾花裕孝	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
ワクチンの有効性・安全性評価とVPD対策への適用に関する分析疫学研究	感染症部長	加瀬哲男	厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業
食品中の食中毒菌等の遺伝特性及び制御に関する研究	細菌課	久米田裕子	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究	細菌課	勢戸和子	厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業
ゲノム情報を基盤とした国内外で流行する病原大腸菌のデータベース化と検査態勢の整備に関する研究	細菌課	勢戸和子	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
非動物性の加工食品等における病原微生物の汚染実態に関する研究	細菌課	田口真澄	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
急速な病期進行あるいはセロネガティブ感染を伴う新型HIVの国内感染拡大を検知可能なサーベイランスシステム開発研究	ウイルス課	川畑拓也	厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
個別施策層のインターネットによるモニタリング調査と教育・検査・臨床現場における予防・支援に関する研究	ウイルス課	川畑拓也	厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
麻疹ならびに風疹排除およびその維持を科学的にサポートするための実験室検査に関する研究	感染症部長	加瀬哲男	感染症実用化研究事業 新興・再興 感染症に対する革新的医薬品等開 発推進研究事業
国内侵入・流行が危惧される昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策に関する研究	ウイルス課	弓指孝博	感染症実用化研究事業 新興・再興 感染症に対する革新的医薬品等開 発推進研究事業
国内で流行するHIVとその薬剤耐性株の動向把握に関する研究	ウイルス課	森 治代	感染症実用化研究事業 エイズ対策実用化研究事業
不顕性ノロウイルス感染が食中毒に与えるリスクに関する研究	ウイルス課	左近直美	公益財団法人 大同生命厚生事業団
水痘の実験室診断法の確立と臨床応用	ウイルス課	倉田貴子	公益財団法人 大同生命厚生事業団
大豆アレルゲンタンパク質検出への質量分析法の導入	食品化学課	吉光真人	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品化学振興財団
ウェルシュ菌新型エンテロトキシン(BEC)に関する研究	細菌課	久米田裕子	株式会社ヤクルト

10. 組換え DNA 実験、安全実験室の運用

表 1.21 組換え DNA 実験実施状況

実験・研究	レベル	所属	研究者
ノロウイルスキャプシッド ^a の大腸菌の発現	B1/P2	細菌課	依田知子
食の安全と関連した有機養液栽培、無機水耕栽培および土壌中の微生物群の解析	B1/P1	細菌課	依田知子
ボツリヌス毒素の高感度検出法の開発	B1/P2	細菌課	河合高生
バンコマイシン耐性腸球菌のReal time PCR検出法の開発	B1/P2	細菌課	原田哲也
腸管出血性大腸菌のReal time PCR検出法の開発	B1/P2	細菌課	原田哲也
新種と推定されるバンコマイシン耐性腸球菌の菌種同定	B1/P2	細菌課	原田哲也
Aspergillus flavusにおけるアフラトキシン産生の転写レベルでの発現制御機構の解析	B1/P2	細菌課	坂田淳子
「食中毒菌に対する特異的抗体の作製(Vibrio属菌やCampylobacter属菌、Salmonella属菌、Plesiomonas shigelloidesに対する抗体の作出やその抗体が認識する抗原の解析)	B1/P2	細菌課	坂田淳子
腸炎ビブリオの易熱性溶血毒の大腸菌での発現	B1/P2	細菌課	坂田淳子
ウェルシュ菌毒素の研究	B1/P2	細菌課	余野木伸哉
クドア属粘液胞子虫の簡易迅速検出法の開発	B1/P2	細菌課	陳内理生
Sarcocystis属原虫の分類を目的とした新たな遺伝子マーカーの開発	B1/P2	細菌課	陳内理生
ウイルス性呼吸器感染症の研究(陽性コントロールプラスミドの作製およびPCR産物の塩基配列の決定)	B1/P2	ウイルス課	加瀬哲男
ウイルス性胃腸炎原因ウイルス、肝炎ウイルスおよびムンプスウイルスの遺伝子クローニング	B1/P2	ウイルス課	左近直美
ヒト免疫不全ウイルス(HIV)およびその他の性感染症に関する研究	B1/P2	ウイルス課	小島洋子
宿主-病原体相互作用の分子基盤に基づくウイルス感染症治療・予防・検査法の開発	B1/P2	ウイルス課	倉田貴子
病原性原虫および自由生活性アメーバに関する研究	B1/P2	ウイルス課	倉田貴子
残留性化学物質による人体汚染に関する研究	B1/P1	食品化学課	永吉晴奈
食物アレルギー検出法の確立	B1/P1	食品化学課	清田恭平
薬剤耐性プラスミドの水平伝達に関与する抗菌薬の特定と作用機序解明に関する研究	B1/P2	食品化学課	山口貴弘
水道原水等における病原微生物の遺伝子型等の調査	B1/P2	生活環境課	肥塚利江
食品検査および食中毒検査としてのノロウイルスおよびA型肝炎ウイルス塩基配列解析	B1/P2	細菌課	依田知子
原虫に貧食または感染させた腸内細菌間での薬剤耐性遺伝子の伝播調査	B1/P2	細菌課	依田知子
ノロウイルス全長のクローニングおよび機能タンパクの発現によるウイルスゲノム複製時の変異に関する研究	B1/P2	ウイルス課	左近直美
組換え麻疹ウイルスを用いた培養細胞感染動態の解析	B1/P2	ウイルス課	倉田貴子

表 1.22 安全実験室の使用状況

実験・研究	使用した病原体	レベル	所属	研究者
BSL3の病原細菌を原因とする問題発生時における菌の検索、同定、解析	炭疽菌 チフス菌 バラチフスA菌	レベル3	細菌課	久米田裕子、勢戸和子 勝川千尋、田口真澄 田丸亜貴、河原隆二 原田哲也
結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究	結核菌 牛型結核菌 非結核性抗酸菌	レベル3	細菌課	田丸亜貴
HIVおよびその他の性感染症に関する研究	ヒト免疫不全ウイルス1型(HIV-1) ヒト免疫不全ウイルス2型(HIV-2)	レベル3	ウイルス課	森治代 川畑拓也 小島洋子
衛生動物を介する感染症に関する研究	ハンタウイルス(ハンタンウイルス、ソウルウイルス) 恙虫病リケッチア、日本紅斑熱 紅斑熱群リケッチア、Q熱コクシエラ ウエストナイルウイルス、チクングニヤウイルス 西部ウマ脳炎ウイルス	レベル3	ウイルス課	弓指孝博 青山幾子
ウイルス性呼吸器感染症の研究	高病原性トリインフルエンザウイルス(H5N3,H7H7,H5N1) SARS関連コロナウイルス MERS関連コロナウイルス	レベル3	ウイルス課	加瀬哲男 森川佐依子 廣井聡

11. 所内研究発表会、公開セミナー、一日体験講座

表 1.23 所内研究発表会

開催年月日	セミナー・講演	司会・座長	テーマ	講演者
H27. 10. 1	第200回 公衛研セミナー	澤邊善之	薬用炭や球形吸着炭による中毒薬物の吸着	岡村俊男（薬事指導課 主任研究員）
		弓指孝博	風疹の現状と課題	上林大起（ウイルス課 研究員）
		久米田裕子	食品由来 PrfA 変異株の病原性に関する研究	神吉政史（細菌課 主任研究員）
H27. 11. 26	創立記念 特別講演会	挨拶：山本容正（所長）		
		尾花裕孝	ナノマテリアルの安全性研究の現状と今後	堤 康央（大阪大学大学院薬学研究所科長）
H28. 3. 24	第201回 公衛研セミナー	足立伸一	公衆衛生研究所での39年を振り返って	東 恵美子（生活環境課 主任研究員）
		尾花裕孝	「和を以て・・・」	足立伸一（生活環境課長）
		尾花裕孝	事件にならなければ歴史に残らない	加瀬哲男（感染症部長）
		山本容正	研究の失敗から解き放たれる	尾花裕孝（副所長 兼 衛生化学部長）

表 1.24 公開セミナーの開催

日時	平成28年1月20日(水) 14時～16時		
場所	大阪市立中央会館		
目的	保健衛生、健康意識の向上に役立つ知識をやさしく解説する 「第17回くらしのサイエンス講演会」として大阪市立環境科学研究所と共催		
対象	大阪府民、大阪市民		
【プログラム】			
開会のあいさつ		大阪市立環境科学研究所 所長 岡本篤佳	
講演			
1) 大阪市の川の水、本当に「きたない」の？ ～道頓堀川も甦りつつあります！		大阪市立環境科学研究所 調査研究課研究主任 大島 詔	
2) 食品の放射性物質検査について —原発事故から約5年間の検査結果—		大阪府立公衆衛生研究所 食品化学課長 梶村計志	
閉会のあいさつ		大阪府立公衆衛生研究所 所長 山本容正	
参加者	57 名		

表 1.25 一日体験講座の開催

日 時	平成27年10月17日(土) 13時～16時		
場 所	大阪市立環境科学研究所		
目 的	健康や環境について関心を深めていただく 「第19回一日体験講座」として大阪市立環境科学研究所と共催		
対 象	大阪府民、大阪市民		
【プログラム】			
	開会のあいさつ		大阪市立環境科学研究所 所長 岡本篤佳
	講義と実習		
	Aコース 「放射温度計で測る・わかる・くらしを変える！」		大阪市立環境科学研究所 調査研究課環境調査担当課長 榊元慶子
	Bコース 「マダニってどんな生き物？」		大阪府立公衆衛生研究所 ウイルス課長 弓指孝博
参加者	22 名		

12. 図書及び資料の刊行

表 1.26 図書及び資料の刊行

蔵書数	洋 書	2,790	和 書	4,803
(製本済み)	洋雑誌	6,267	和雑誌	1,992
資料の刊行	平成26年度大阪府立公衆衛生研究所年報 (ISSN 0289-9809)			平成27年11月
	大阪府立公衆衛生研究所研究報告 No53(PDF) (ISSN 2185-4076)			

13. 文献相互貸借状況

図書室所蔵資料は限られており、所蔵のないもので調査・研究に必要な資料については、平成 27 年度では、NACSIS - ILL オンラインシステム等により 35 の大学

図書館等外部機関より総計 460 件の文献を入手した。
また同システム等により 36 の大学図書館等外部機関に総計 53 件の文献を提供した。